結

JCI石巻がつくる広報誌
―YUI―

2021.3
vol.1

withコロナ時代のJCとは

一般社団法人　石巻青年会議所　理事長
沼倉　勝哉

公益社団法人　桐生青年会議所　理事長
黒澤　卓也

市長選挙開催決定！
～公開討論会開催のお知らせ～

2020年度活動報告
コロナ禍における私たちのまちづくり

震災から10年 復興のあゆみ
被災地から未来へ

理事長挨拶

不易流行
～自分を、未来を、アップデート～

2021.3 vol.1
JCI石巻がつくる広報誌 結 ―YUI―
発行／一般社団法人　石巻青年会議所

自己成長をしたい人
タイムマネジメントを身に付けたい人
人脈を広げたい人
地域（まち）の為に貢献したい人

私達と一緒に活動してみませんか？

新入会員募集中

入会案内

（一社）石巻青年会議所は、1964年に設立し今年で57周年を迎える、地域の人づくり・まちづくりに取り組んでいる団体です。活動原資である会員の年会費10万円にて、主な活動内容の石巻川開き祭り、サン・ファン祭りなどの祭り事業、月に１回開かれる例会、地域住民を対象とした公開講演会などを開催しております。現在58名の会員で活動しており、多くの女性の会員も在籍し、活躍しております。これからの石巻市・東松島市・女川町のことを考え活動して下さる20歳～40歳までの2市1町に居住又は勤務されている青年経済人を募集しております！

JCI Ishinomaki
一般社団法人　石巻青年会議所
〒986-0822　宮城県石巻市中央三丁目1-43　木村ビル2F
TEL 0225-95-1013　FAX 0225-95-1023
ホームページ　http://i-jc.net/　Ｅメール　info@i-jc.net/

Follow us
Website
facebook
Instagram
Youtube

理事長挨拶

ご挨拶

私たち一般社団法人石巻青年会議所（以下ＪＣＩ石巻）は20歳から40歳までの青年経済人が所属しており、地域の人づくり・まちづくりに取り組んでいる団体です。

主な活動内容は会員を対象とした月に一度の例会の開催、地域の交流や歴史を発信する場でもあるサン・ファン祭り、石巻川開き祭り、北上川フェアなどの祭り事業を行っています。また、地域の皆様を対象とした公開講演会や公開討論会、行政と連携して政策コンテストなどを開催しております。各事業を通してこの地域に存在する魅力や歴史を新たに発見し、再認識いただくことで、我々が住み暮らす地域がより良くなるための一助となる活動を行っております。また、事業の構築や委員会運営を通して会員の人材育成に積極的に取り組んでいます。

震災から10年の節目となる今年、ＪＣＩ石巻の活動エリアである石巻市、東松島市、女川町は着実に復興の歩みを進めておりますが、震災によって加速したと言われる人口減少、少子化、高齢化に加え、コミュニティの縮小や地域間交流の減少など、課題もまだまだ山積しています。また、新型コロナウイルスの影響による経済的な打撃も決して小さくはありません。

青年経済人である私たちが、自分たちが生まれ、住み暮らす地域についての理解を深め、これからの未来を考え、ウィズコロナからアフターコロナへ向けたニューノーマル時代への対応と対策を率先して実践することが、この地域をより明るい未来へと牽引する力になるはずです。

これからの時代に向けて自身をアップデートさせ、その成長を家庭、職場、そして地域へと波及させ、自らが率先して行動する人材の育成と地域の明るい未来の実現に向かい行動していきます。

共に地域を考え成長を求め活動する仲間のご入会をお待ちしております。

一般社団法人　石巻青年会議所
理事長　沼倉　勝哉

不易流行 ～自分を、未来を、アップデート～

目　次

理事長挨拶 …… 2
青年会議所とは …… 3
熱狂対談 withコロナ時代のJCとは …… 4－5
一般社団法人　石巻青年会議所 理事長　沼倉　勝哉 × 公益社団法人　桐生青年会議所 理事長　黒澤　卓也
震災から10年　復興への歩み ～被災地から未来へ～ …… 6－9
2020年度活動報告 …… 10
市長選挙開催決定！ ～公開討論会開催のお知らせ～ …… 11

青年会議所とは

What's JC

青年会議所（ＪＣ）は明るい豊かな社会の実現を同じ理想とし、次代の担い手たる責任感をもった20歳から40歳までの指導者たらんとする青年の団体です。青年は人種、国籍、性別、職業、宗教の別なく、自由な個人の意志によりその居住する各都市の青年会議所に入会できます。

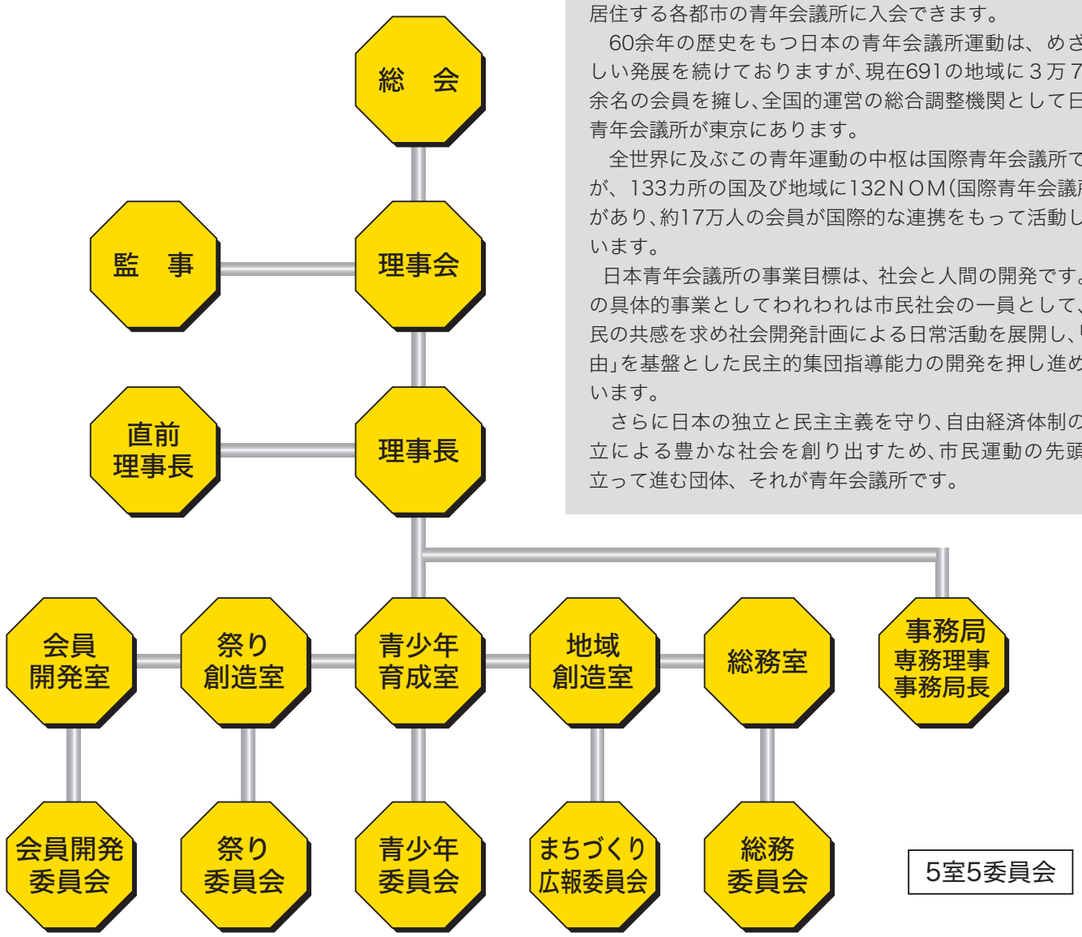
60余年の歴史をもつ日本の青年会議所運動は、めざましい発展を続けておりますが、現在691の地域に３万７千余名の会員を擁し、全国的運営の総合調整機関として日本青年会議所が東京にあります。

全世界に及ぶこの青年運動の中枢は国際青年会議所ですが、133カ所の国及び地域に132ＮＯＭ（国際青年会議所）があり、約17万人の会員が国際的な連携をもって活動しています。

日本青年会議所の事業目標は、社会と人間の開発です。その具体的事業としてわれわれは市民社会の一員として、市民の共感を求め社会開発計画による日常活動を展開し、「自由」を基盤とした民主的集団指導能力の開発を押し進めています。

さらに日本の独立と民主主義を守り、自由経済体制の確立による豊かな社会を創り出すため、市民運動の先頭に立って進む団体、それが青年会議所です。

一般社団法人　石巻青年会議所 2021年度組織図



LOM基本データ

創　立	1964年（昭和39年）６月23日
承　認	1965年（昭和40年）２月21日　第291号 （スポンサーＪＣ：仙台ＪＣ）
法人認可	1982年（昭和57年）12月21日
姉妹ＪＣ	茨城県ひたちなか市 一般社団法人　ひたちなか青年会議所
友好ＪＣ	群馬県桐生市 公益社団法人　桐生青年会議所
会員数	58名（男性51名　女性７名）　※2021年１月31日現在
理事長	第57代　沼　倉　勝　哉

JCI Ishinomaki

熱狂　対談

withコロナ時代のJCとは

一般社団法人　石巻青年会議所
理事長
沼倉　勝哉

2020年11月7日　　割烹 滝川にて

公益社団法人　桐生青年会議所
理事長
黒澤　卓也

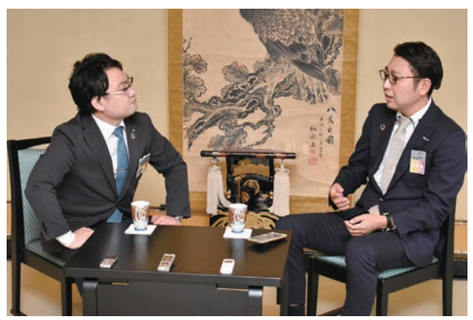
黒澤：本日はありがとうございます。
沼倉：とんでもございません。遠いところお越しいただいてありがとうございます。
黒澤：友好JCを結んで5年経ったので、絆の確認じゃないですけど、そういったものを続けていくよ！というアピールも含め、お話をしたいなと思ったので、お付き合いいただければと思います。

友好JCについて

黒澤：実際に復興は進んでいるんですか？
沼倉：復興のゴールがどこなのかというのもあって、インフラなどの部分はだいぶ進んではいますが、あの頃にただ戻すだけじゃなくて、これからどうするのって考え方もあったり、人口流出問題もあって、離れていった方々も戻ってくるのかという所もあります。まだ道半ばで完成ではないのかなと思ったりはします。
黒澤：友好JCは五年前に結ばせていただいて、石巻JCからオファーをいただけたことが名誉なことでした。桐生JCからすると、震災当時のことを知っているメンバーが実はもうほぼいなくなってしまんです。この先5年10年経つと、我々の関係構築ができなくなる。友好JCへの経緯をどうしても伝えていきたい。また、JCを結んだからといってお互い友情なので、どうしたら足かせにならないな、という風には考えています。
沼倉：そうですよね。距離的にも離れますし、会う機会は限られている。今年みたくなってしまうと接点がなくなってしまう。今年我々はZOOMで例会などもましたので、そういったものを使うと距離的なもののデメリットは消せるのかなと思いまして、たとえば桐生さんと一緒に合同例会をしてZOOMを使ってみるというのもあるのかなと。あと、去年の今頃ハンドブックに桐生さんのページを新設させていただきました。
黒澤：めっちゃうれしい。ちょっとこういうの検討しても面白そう。

コロナ禍での運動発信の在り方

沼倉：こういうのがあると、この年やったんだなーというのがわかるのかな。
黒澤：なぜっていう部分も伝わっていきますしね。
沼倉：そうですよね。当時の理事長なんかも一生残りますねーっていうとニコニコしちゃって(笑)
黒澤：（笑）そうですよねーすごいうれしい。
沼倉：うちは公開事業を2つやったんです。出ないための対策を徹底するけども出た場合どうするかっていう細部まで確認したうえで。
　来年は全部当たり前のようにやろう！と自分は決めました。青年会議所が地域のリーダーじゃないですけども、徹底すればできるんだ！そういった地域の鑑みたいな風にしていこうよって思ったんで、基本的には全部やりたいなって思ったんですよね。
黒澤：公開例会もやっているんですか？
沼倉：公開は中止になりました。来年はぜひやりたいって思っています。
黒澤：うちでも公開事業やったんですよ。そしたらアンケートをみると、こんな中でやってくれてありがとう！と。市民の方達も葛藤があるだろうなと思います。やっていくことに価値があると思います。やらないことは楽でしょうが、JCしかできない力というのを皆に知ってほしい、知らしめるというよりも、当たり前のようにやることで周りに感化してほしいというイメージで突っ走ろうかなと思っています。周年事業もあるので。祝宴も開催しようかと話しています。
黒澤：来年桐生JCが65周年、桐生市が100周年を迎えるのですが、子ども向けのミニ・ミュンヘンといった、子どもだけで作る街というのを桐生バージョンでやろうと考えています。この事業を行おうと決めていたので、実際に自分の目で見て、桐生市の市長にも賛同していただき、これだったら確実に良い記念事業ができると思い、この65周年と、100年に一度の節目の年に桐生市とタイアップしてしっかりとやっていこうと考えております。
沼倉：公開事業を行っていてマイナスな意



てすごいんだなと改めて気づかされたっていうのがありました。

会員の拡大について

黒澤：会員拡大につきましてですが。JCさんは今何名在籍されているのでうか。
沼倉：今現在で74～5名、来年度は58スタートになります。卒業してしまう割合が大きくて、近年は大体60後半～70前後だったのですが、50台になってしまと思うとやはり危機感はあります。こら5～10名の卒業が続いてしまう状す。今年はコロナで会員拡大がうまくなかった部分もあり、入会を見合わせるもいました。
黒澤：こちらも来年度は51名スタートMAXは150名程在籍していましたが最小の在籍数の理事長になります。今後見はありましたか。
黒澤：いえ、ないかと思います。きちんこちらで対策をしているので、いらっる方にとって安心した空間づくりを徹に考えています。コロナに関しては、としてどうするか色々な意見を決めてています。共有意識を持つことを考え、来年はコロナ対策としてシートを作ろうと思っています。コンプライアンスの部門を立ち上げて、専門にチェックする人を作ろうかと考えて動いています。
沼倉：それは是非ご教授いただきたいです。

来年の抱負について

沼倉：石巻も来年57年目ということで、先輩達が築きあげてきてくれたもの、石巻青年会議所が歩んできたものはしっかりしているので、コロナで振り回されても根本は変わらないと思っています。意識をしっかりともって後世に引き継いでいけるように、芯をぶらさずしっかりと伝えていきたいです。それが私の来年の抱負です。
黒澤：うちも64年積み上げてきた桐生のプライド・スピリット・意地があるので、他のLOMから周年楽しみにしているからと言われた結果、前回がすごかったということがあった。
　前回がすごかった理由はそれまでの積み重ねが結果として出ていると感じました。
　今はJC「も」ある時代って言われているじゃないですか。そうではなくてJC「しか」出来ない時代がもしかすると復活するのではないかと思っています。来年は出来ないことを考えるのではなく、出来ることを考え、判断しようと皆さんに所信で伝えたので、徹底的に当たり前にやるっていうのを当たり前にやれる1年にし、66周年につなげていきたいと考えています。
沼倉：勉強になります。桐生プライドよく聞きますね。熱い方が多いというイメージが桐生さんにはあります。去年石巻から数名お邪魔させていただいたときに、うちの会員も桐生さんは素晴らしかった！良かった！とずーっと言っていました。
黒澤：楽しみますからね。まずは何でも楽しんで、どう楽しむかが大事ですよね。
黒澤：1年と2・3か月、理事長職を預かる身として一緒に切磋琢磨していけたらと思います。周年もお待ちしておりますので、宜しくお願いします。
沼倉：是非宜しくお願いします。
桐生：ではこれで対談を閉じさせていただきます。ありがとうございました。

震災から10年

復興への歩み

被災地から未来へ

東日本大震災によって、私たちの住むこの石巻圏域にも壊滅的な被害がもたらされました。全国各地から集まった多くの方々の助けもあり、苦難を乗り越えてきました。震災から 10 年、復興住宅や道路等のインフラの整備も進み、石巻市と東松島市においては SDGs 未来都市に選定され、未来へ向けて一歩ずつ前へ歩み出しています。私たち石巻青年会議所もこの震災で得た経験を活かしながら、地域の魅力を掘り起こし発信する運動を展開してまいります。

被災地に花を

消防隊員による捜索

2011
2012
2013
2014
2015
2016
2017
2018
2019
2020
2021

第45回宮城ブロック大会inいしのまき

地域のたからいち

石巻圏域をはじめ、県内の隠れた“たから”や新開発の製品を集めた飲食・物販ブースを出店、紹介する事業を行いました。

進め！ひかり輝く地域に向かって ～みんなでつくるエコキャップアート～

発生日時	2011年3月11日(金) 午後2時46分
発生場所	三陸沖(北緯38.1度、東経142.5度) ※牡鹿半島の東約130km付近
震源の深さ	24km
最大震度	震度7(栗原市)
規模	マグニチュード9.0

東日本大震災の概況

2011年3月11日(金)午後2時46分、東日本大震災が発生しました。東日本を中心に大きな揺れが約3分間続き、電気、ガス、道路などインフラが大きな被害を受けました。地震で発生した巨大津波により、県内では1万人を超える死者・行方不明者が生じました。沿岸地域では、従来一定の津波対策を行ってきましたが、今回の巨大津波を防ぐことはできず、広範囲にわたり壊滅的な被害を受け、最大32万人を超える被災者が避難所での生活を余儀なくされました。また、東京電力福島第一原子力発電所が津波で被災し、宮城県においても、放射能測定や各種検査などの対応に追われました。

石巻エリアの被害状況

	地域合計	県内合計
死者	5,299人	10,565人
行方不明者	701人	1,221人
全壊	28,486棟	83,004棟
半壊	18,956棟	155,130棟

(2020年2月29日現在)

応急仮設住宅入居者数

	2012年4月	2020年2月
プレハブ住宅	24,517人	0人
民間賃貸借上住宅	16,958人	4人
合計	41,485人	4人

(2020年2月29日現在)

災害公営住宅整備状況

	2019年2月	2020年2月
計画戸数	6,416戸	6,416戸
完了戸数	6,284戸	6,284戸

(2020年2月29日現在)

震災当時の支援状況

八千代JC
様々な職種の会員がいるJCの特徴を生かして、重機によるガレキ撤去などの支援もいただきました。

雪国JC
緊急支援時、仮設浴場の設置などの支援をくださったLOMもあります。

桐生JC
修学旅行等が中止になってしまった石巻の子供たちへ他地域の文化に触れる機会をいただきました。

ひたちなかJC
姉妹JCのひたちなかJCをはじめ、たくさんの物資・炊き出し支援をいただきました。

一般社団法人　石巻青年会議所
第 47 代理事長

窪木　好文

（鹿島御児神社　禰宜）

多数の支援

震災直撃してしばらくは会員の安否確認がとれず、事務局に会員が集まりました。会議体もままならない状況の中、青年会議所という組織のトップとして「自分たちがやるべきことをやる」ことを念頭に被災者の支援に日々奔走していました。まずはじめに、石巻花卉市場を借りて各所から集まった支援物資の備蓄拠点とし、おにぎりをつくり、老健施設やボランティアセンターへ配布を行いました。たいへん有り難いことに大量の支援物資が届く一方で、人手不足、車両不足、燃料不足という問題も深刻化してきました。そこで大きな助けとなったのが、全国各地から集まってくださった青年会議所会員の皆様です。桐生青年会議所（以下「JC」）、大田JCの支援により、日和山を第2の拠点として、物資支援を開始。後に仙台JC、東京JCに引継ぎ、4月末までご支援いただきました。ひたちなかJCをはじめとした各地での炊き出し支援、八千代JCの建築重機をお借りした瓦礫撤去、雪国JC・橿原JCの協力で待望の簡易入浴施設の設置が叶いました。その他にも多くの青年会議所のご協力の下、我々石巻JCは行政の手の届かない部分の復旧作業に尽力しました。7月になり、理事会が開催され、平塚JCのご協力の下、石巻川開き祭りへの参画、石巻復興支援協議会との協働による「復興市」の開催等、少しずつではありますが、青年会議所としての運動も再開の動きが見られました。また、桐生JCの協力で被災した子どもたちを桐生市内で開催される桐生祭りに招待していただき、多くの子どもたちの笑顔を生みだすことができました。こうして震災一年目は多くのご支援があったことでなんとか青年会議所としての運動発信を行っていくことができました。

復興へむけて

震災以降、瓦礫の処理も終わり、復興住宅や道路整備などが進んでいます。家を再建された方もいれば、復興住宅に入って新しい生活を送っている方もいます。石巻市内の仮設住宅も昨年ようやく全戸解消となり、少しずつではありますが復興に向けて歩みだしています。一方で、石巻管内の人口減少、過疎化、被災者の心のケア、復興予算終了に伴う財源問題等、まだまだ課題は山積みです。この圏域では震災に強いまちづくりを標榜し、復旧・復興計画が進められており、石巻市中心市街地にあってはコンパクトシティ構想により再開発が開始しました。昔から川湊として栄えてきた街中は堤防に囲まれるが、北上川を意識した親水区域を設けたりしてその名残を残します。歴史的に見ても、時代の変遷によりまちの姿は変わりながらも、先人たちの積み重ねてきた伝統や文化を継承し、北上川を始め豊かな自然とともに生きてきました。今回は災害という急な変貌を遂げることとなったが、今回築き上げた絆と想いと共にあればいつの日にか、それが私達のふるさとの風景となるのではないかと思います。人は一人では生きていけない、そして希望はなくならない。その想いを持って前に進むことが何より大切なことなのではないかと思います。私達が思い描く未来を自分一人ではなく、仲間や周りの人たちと共に実現していくこと。それが私達青年会議所の使命だと感じています。

震災後の私たち

2017年度９月公開例会
「トランプで防災？～みんなで楽しく話そう～」

2017年9月9日、自助共助の促進などを目的とする防災トランプを活用したワークショップを開催しました。防災トランプを使って遊んでもらうことで、防災について会話をし、交流する機会が増え。参加者に防災トランプを記念品として持ち帰ってもらい、家族を始め、参加者が所属するコミュニティーで子供達が参加し経験したことを持ち帰り、家族で話してもらうことで、家族で防災の話をするきっかけとしました。また、参加者が今までの経験で家族や友人から助けてもらった経験を振り返り、それがきっかけとなって、自分が気を付けるようになったことを、「防災えほん」として作成しました。「防災えほん」を取り入れたことで、子どもも大人もより具体的な取り組みを書くことができ、防災を特別な事として捉えるのではなく、日常生活の一部に防災の意識が生まれ、家族や地域の人達と世代を越えて防災について話し、災害時にお互いに助け合う関係を築くきっかけとなりました。

石巻青年会議所創立55周年記念式典
姉妹・友好青年会議所との防災協定調印

東日本大震災で多大な支援を受けた恩返しを形にし、相互の防災や発展のきっかけとするために、2019年６月23日、石巻青年会議所創立55周年記念式典内で姉妹青年会議所のひたちなか（茨城県）と友好青年会議所の桐生（群馬県）と防災協定を締結しました。本事業では、事前に趣意書を作成、直接お渡しし、交流を深めました。また、石巻青年会議所での祭り事業に参加いただくとともにエクスカーションを行い、石巻の震災時の記録と現在の防災システム等を市の協力を得ながら行いました。震災当時入会していたメンバーはだいぶ少なくなってきてはいますが、姉妹青年会議所や震災がきっかけで結んだ友好青年会議所との交流と、有事の際お互いがお互いのために行動する覚悟が生まれました。

桐生JC理事長と

ひたちなかJC理事長と

石巻圏域の復興

❶

❷

❸

❶石巻市―石巻南浜津波復興祈念公園
南浜地区跡地に震災復興のシンボルとなる公園として復興計画に位置づけられました。公園のデザインは、震災前の街と人の生活をしめす街路網を残すとともに、その上に追悼の広場を中心に中核的建築物、避難築山等を配置されています。

❷東松島市―東松島市震災復興伝承館
震災の風化を防ぎ、防災意識の醸成を行うべく、復旧・復興の記録などを展示・紹介し、広く後世に伝承するために平成28年10月にオープン。令和2年10月のリニューアルではSDGs未来都市の理念とスポーツ健康都市宣言など、今後、東松島市が目指す姿もパネル展示されています。

❸女川町―地元市場ハマテラス
女川駅正面のレンガみち沿いに隣接した地域住民や観光客向けのテナント型観光物産施設です。国道からのアクセス性にも優れ、特に観光客の玄関施設となります。「海」が基本コンセプトの8店舗が出店しています。

Business JC Report

2020年度活動報告

無病息災を祈願する茅の輪作成・展示

例年であれば、縄張り神社奉納大縄引き大会を実施するこの圏域最大の祭りである石巻川開き祭りも新型コロナウィルス感染拡大の影響により中止となった昨年、密集状態を作らずに、今発信しなくてはならないことを対外事業でどう表現するかが課題でした。催し物自体に世間から冷ややかな目を向けられていたあの時期に、度重なる協議を経てたどり着いた答えは、３密を避け、「今までの歴史を途切れさせず、続けること」でありました。そこで、茅の輪本来の「無病息災を祈願する」という意味に立ち返り、市民の皆様が無病息災を祈り、今年は楽しい夏を迎えることができるよう、縄張神社と石巻市かわまち交流センターに茅の輪を展示し、茅の輪くぐりを体験できる事業を実施致しました。来場頂いた方々から、「川開き祭りと茅の輪の歴史や意味が解って良かった」というお声や、「閉塞感のある年に光が射すようなイベントだった」というお声を頂戴しました。

おうちで川開きプロジェクト

コロナ禍で沢山のイベントが中止になったことを受け、今年ならではの思い出を自宅で作ってもらいたいという想いで実施しました。自宅や職場で世界に一つしかない七夕飾りを作成し、SNSや特設サイトに「＃おうちで川開き」をつけて作品を投稿してもらい、８月１日の石巻かほくさんに１１４点の作品を掲載して頂きました。七夕飾りとともに、参加者の笑顔が輝いており、当初計画していた「この地域の人が持つ魅力」を表す事ができたと感じ、大変嬉しく思いました。かわまち交流センターにて、茅の輪とともに七夕飾りを展示させていただき、今年ならではの石巻川開き祭りの歴史を感じる機会となったと思います。事業にご協力頂いた全ての皆様に感謝を申し上げます。

進め！ひかり輝く地域に向かって
～みんなでつくるエコキャップアート～

2020年９月13日にサン・ファンパークでペットボトルキャップを約5,000個使ったエコキャップアートを作成しました。作成にあたって事前に地元スポーツ少年団の小学生に手伝ってもらい、石巻のサン・ファン・バウティスタ号、東松島のブルーインパルス、女川の女川駅を描きました。９月14日からは、石巻、女川、東松島の順に移動展示を行い多くの人々に観覧してもらい、改めて地域の魅力を知ってもらうとともに各イベントが自粛する中でもまちづくりの重要さを感じていただきました。現在エコキャップアートはサン・ファンパークにて展示されています。縦２メートル、横４メートルの迫力のある展示を是非ご覧ください。

市長選挙開催決定!!
公開討論会開催のお知らせ

石巻市長選挙に伴う

石巻市市政公開討論会

この地域の未来を決める
政策について聴いてよう

4.10 Sat. 16:00～

私たちの住む石巻市は前回の市長選挙から４年が経過します。今年度は震災から 10 年という節目の年です。新たな道路や復興公営住宅、医療施設等のインフラ整備が着々と進んできましたが、すべてが完了していない中で、最大被災都市から復興モデル都市を目指す被災地域の総括と、当時はなかったＳＤＧｓ未来都市を含めたこれからのビジョンをしっかりと見定め、私たち市民一同が共有する必要があります。この討論会は、立候補予定者の方々に本音で政策を語って頂き、有権者にとって政治をより身近なものとして捉えて頂くものであると同時に、各立候補予定者の考えを聞く事により私たち市民も一緒に石巻市の現状・問題点を知り、そして一緒にまちづくりを考える機会にしたいと考えています。また、当会議所は、政治的に公正で中立な立場の組織として、市民と政治の間に立ちこれを実現させることが重要な使命だと考え取り組んで参ります。

主催：一般社団法人石巻青年会議所

YouTubeライブにて配信

石巻青年会議所のYoutubeアカウントで
当日の収録動画を4/17までの期間限定
で公開いたします!!ぜひご覧ください！

石巻青年会議所　検索

JCI

【主催】
一般社団法人石巻青年会議所
石巻市中央三丁目1-43木村ビル2F

【後援】
石巻かほく（㈱三陸河北新報社）
石巻日日新聞　ラジオ石巻76.4